

MITA International School Syllabus 2019

三田国際学園中学校・高等学校 2019年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校1年/MSTC	Subject Area / Class 教科 / 科目	国語総合/現代文	Class hours 時間数	3時間/週
----------------------------------	-----------	---------------------------------	----------	--------------------	-------

1学期 中間試験 Term 1 Midterm

Name of Unit, Project 単元名	言語機能と論理性	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	野矢茂樹『論理トレーニング101題』
------------------------------	----------	-------------------------------------	--------------------

Unit Description 単元の概要	言語のもつ役割について、改めて考え直すと同時に、情報伝達手段としての言語を、実践的に運用を行うトレーニングを行う。前半では人間の認識における言語が果たす機能/制約を、思考実験を通じて考えてみる。後半では一見すると論理的に見える文章における、論理の欠陥を探し出し、同時に適切な接続詞を選択するトレーニングを行う。
---------------------------	---

Unit Standards 本単元の内容と評価規準			Others 備考
楽	A3 異なる意見を、相手を尊重しながら聞き、その意味を正確に捉えられる。	B3 的確な接続詞を用いて、文章の論理性を明晰化することができる。	C3
好	A2	B2 文章全体を構造的に分析し、その論理性を理解することができる。	C2
知	A1 文章の段落について理解し、段落ごとの繋がりを考えられる。	B1 各段落の論理の展開を抽象化して把握することができる。	C1 言語のもつ役割と、認識における言語の機能と制約を理解する。
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking

- <評価方法>
- ・定期考査の素点 (60%)
中間考査
 - ・平常点 (40%)
グループ発表/小テスト/提出物
- <ICT・Creation>
- ・視聴覚教材の利用
 - ・パワーポイントを使用した解説
 - ・Keynoteによるグループ発表

MITA International School Syllabus 2019

三田国際学園中学校・高等学校 2019年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校1年/MSTC	Subject Area / Class 教科 / 科目	国語総合/現代文	Class hours 時間数	3時間/週
----------------------------------	-----------	---------------------------------	----------	--------------------	-------

1学期 期末試験 Term 1 Final

Name of Unit, Project 単元名	デジタルネイチャーの時代の人間	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	落合陽一『日本再興戦略』
------------------------------	-----------------	-------------------------------------	--------------

Unit Description 単元の概要	技術革新が進む社会において、人間がどのように変化するかを考え、その中でも不変な人間性を検討していく。特にシンギュラリティを迎えることによって、これまでと何がどう変わると予測されているのか、その変化の本質を考えると同時に、人間社会のありうるべき姿についても議論をしていく。
---------------------------	---

Unit Standards 本単元の内容と評価規準			Others 備考
楽	A3 自分が読み取った内容を、相手に分かりやすい形にまとめて説明できる。	B3 議論を通じて、筆者の主張と自分の主張と相手の主張を批判し合い、自らの分析と主張の妥当性を高めることができる。	C3
好	A2	B2 筆者の主張を明確につかみ、それを批判的に読み解ける。	C2 議論を通じて、よりよい未来を共に築いていくこと責任を感じることができる。
知	A1 技術革新の歴史の基本を理解することができる。	B1	C1 テキストを批判的に読み解くことで、新たな考えを創造することができる。
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking

- <評価方法>
- ・定期考査の素点 (60%)
 - ・期末考査
 - ・平常点 (40%)
 - ・グループ発表/小テスト/提出物
- <ICT・Creation>
- ・視聴覚教材の利用
 - ・パワーポイントを使用した解説
 - ・Keynoteによるグループ発表

MITA International School Syllabus 2019

三田国際学園中学校・高等学校 2019年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校1年/MSTC	Subject Area / Class 教科 / 科目	国語総合/現代文	Class hours 時間数	3時間/週
----------------------------------	-----------	---------------------------------	----------	--------------------	-------

2学期 中間試験 Term 2 Midterm

Name of Unit, Project 単元名	内面世界の分析と文学の手法	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	芥川龍之介『羅生門』安部公房『日常性の壁』
------------------------------	---------------	-------------------------------------	-----------------------

Unit Description 単元の概要	合理的な文脈では説明が困難な人間の心理・行動を分析する手段あるいは、その結果としての文学作品を取りあげる。特に『羅生門』では、構造把握やテキスト分析といった手法を身につけるだけでなく、いつの時代にも必要な思考の軸とは何かを議論する。科学技術の発展はめざましいが、それを扱う人間として「どうありたいか」を考えるための基盤を構築する。
---------------------------	---

Unit Standards 本単元の内容と評価規準			Others 備考
察	A3 他者のパーソナルヒストリーを聞き出し、本人の無意識下にあることについて、示唆することができる。	B3 他者の語りや、その語りとは異なるコンテキストの可能性を考へることができる。	<評価方法> ・定期考査の素点 (60%) 中間考査 ・平常点 (40%) グループ発表/小テスト/提出物 <ICT・Creation> ・視聴覚教材の利用 ・パワーポイントを使用した解説 ・Keynoteによるグループ発表
好	A2 物語の展開を場面毎に把握することができる。	B2 細かな描写に込められた意味を拾い上げ、文章表現の妙技を味わえる。	
知	A1	B1 主人公の心情について、情景描写から正確に読み取ることができる。	
	C3 自分自身の過去の経験が持っていた意味とは別の意味の可能性を意識し、いまこの地平のオルタナビリティを想像できる。	C2	
	C1 他者のセンシティブな点を含む語りや、繊細さをもってすくい上げられる。		
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking

MITA International School Syllabus 2019

三田国際学園中学校・高等学校 2019年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校1年/MSTC	Subject Area / Class 教科 / 科目	国語総合/現代文	Class hours 時間数	3時間/週
2学期 期末試験 Term 2 Final					
Name of Unit, Project 単元名	「AI」との共生を考える。		Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	岡本裕一郎『答えのない世界に立ち向かう哲学講座』	
Unit Description 単元の概要	他の生物やロボットとの比較を通じて、人間とは何かを考える。他と共通する点を洗い出し、それでも残る何かが、人間の本質的なものであるかを検討し、人間を改めて定義しなおしつつ、AIとの共生の形を考える。そのなかで、正解を得ることよりも、コンセンサスを形成していくことという過程の重要性を見ていく。				
Unit Standards 本単元の内容と評価規準				Others 備考	
察	A3 自分が読み取った内容を、相手に分かりやすい形にまとめて説明できる。	B3 議論を通じて、筆者の主張と自らの主張と相手の主張を批判し合い、自らの分析と主張の妥当性を高めることができる。	C3	<評価方法> ・定期考査の素点 (60%) 期末考査 ・平常点 (40%) グループ発表/小テスト/提出物 <ICT・Creation> ・視聴覚教材の利用 ・パワーポイントを使用した解説 ・Keynoteによるグループ発表	
好	A2	B2	C2 これまでの人間観をふまえた上で、新たな時代の人間像について想像することができる。		
知	A1 課題文を理解するのに必要な基本的な語彙を理解できる。	B1 人間理解に対する歴史的変遷を理解することができる。	C1		
Recognition		Logical Thinking	Creative Thinking		

MITA International School Syllabus 2019

三田国際学園中学校・高等学校 2019年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校1年/MSTC	Subject Area / Class 教科 / 科目	国語総合/現代文	Class hours 時間数	3時間/週
3学期 期末試験 Term 3 Final					
Name of Unit, Project 単元名	科学哲学入門	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	野家啓一『科学哲学への招待』		
Unit Description 単元の概要	科学とはどのような思考の枠組みであり、どのような可能性とともに限界を持っているのかを考察する。また似非科学と科学の違いを検討する中で、どのように科学が理論を発展させてきたかを学ぶ。またその上で科学的な正しさが、どのような基盤をもった正しさなのかを、検討していく。				
Unit Standards 本単元の内容と評価規準				Others 備考	
楽	A3	B3	C3 科学技術が発展する社会における自分の生き方に新しい視点を与える。	<評価方法> ・定期考査の素点 (60%) 学年末考査 ・平常点 (40%) グループ発表/小テスト/提出物 <ICT・Creation> ・視聴覚教材の利用 ・パワーポイントを使用した解説 ・Keynoteによるグループ発表	
好	A2 意味段落、場面ごとに内容の重要ポイントを整理する。	B2 複数の資料を構造的に読み、端的に説明する。筆者の論理展開や根拠の提示の仕方を捉え、的確に主張をつかむ。	C2		
知	A1 課題文を理解するのに必要な基本的な語彙を理解できる。	B1	C1 新たな価値観を生み出すために必要なことに気づく。		
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking		